



研究開発用営農支援システム 「SAWACHI Lab」の紹介 1



図1 SAWACHI Lab ロゴ

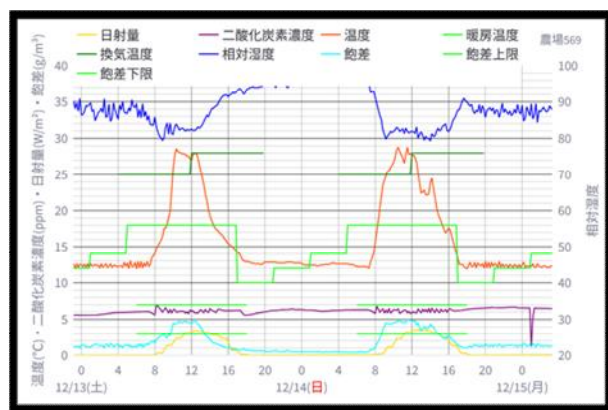


図2 施設園芸営農支援シートの画面
(ハウス環境の推移)



図3 目標光合成量計算アプリ



図4 生育調査シートの画面

IoPクラウド「SAWACHI」には、ハウス内の環境データや出荷量などが日々蓄積されています。これらを当センターの研究成果と組み合わせ、品目や目的に応じた形にして現場にお返しする必要があります。

そこで農業情報研究室では、研究開発用営農支援システム「SAWACHI Lab(サワチラボ)」を開発しました(図1)。SAWACHIの全15種類のデータからAPIで必要なものを取り出し、画面ごとに表示しています。

現在、生産者の方が利用できる画面は約15種類あります。ハウス環境の振り返り(図2)、目標光合成量計算アプリ(図3)、生育調査の記録と表示(図4)などです。画面は現

場から寄せられた要望をもとに、研究員が自ら設計し開発しています。

利用対象は、SAWACHIのアカウントをお持ちの県内の農業者や関係機関の方です。お近くの農業振興センター・農業改良普及所、または農業技術センターにご相談ください。ご意見ご要望もお寄せください。

本研究は、内閣府地方大学・地域産業創生交付金「“IoP(Internet of Plants)”が導く『Next次世代型施設園芸農業』への進化」の助成を受けたものです。

(農業情報研究室 五藤雄大 088-863-4920)